



# 桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年5月21日  
文責：校長 江上 知男

## 始まりました！ イングリッシュタイム（ET）



担任もバリバリ！（2年）

保護者の皆さんは「英語」に対して、どのような感情をお持ちですか？。「割と得意だわ！」と思われる方もおられると思います。中には「外国の方との会話も苦にならない！」という方もおられるかもしれません。かく言う私はどうか…。ご存知の方もおられると思いますが、私は英語が大の苦手で、学校の入学試験や卒業においてとても苦労した経験があります。「もし、外国の方に道を尋ねられたら…」と考へただけで、心臓がドキドキしそうです。きっと逃げ出してしまいうに違いありません。トホホ…

さて、今週からイングリッシュタイム(ET)が始まりました。ETとは、小坂小学校独自のしくみです。毎週、月・木曜日の朝15分間を、英語の時間に充てているのです。しかも「授業時間扱い」です。なぜこのようなことができるのか…。すでにご存知の方も多いと思いますが、小坂小学校は「教育課程特例校(文部科学大臣が、学習指導要領等によらない教育課程を編成して実施することを認める制度)」に指定されているのです。このことで、学年により年間20時間～55時間多く英語を学ぶことができます(ただし、生活や総合等、他の教科の時間数を削っています)。

それでは、その成果は？と言いますと、目を見張るものがあります。昨年1年間見てきて、英語で表現することに「照れ」や「恥ずかしさ」を感じられず、楽しそうなのです。まさに、これまで6年間の積み重ねです。小坂小学校子どもたちは、私のように「英語から逃げない」のです。

このことは、小坂小学校の大きな特徴であり強みです。今後、時代はますますグローバル化が進み、英語力はさらに重要視されます。私のような「英語に強い苦手意識を持つ人」を育てないためにも、ETは大切にしたい時間です。ご家庭でも、子どもたちの話を是非聞いてください。



## 早くも大雨の季節です！

なんと、5月の半ばに梅雨入りという、平年より大幅に早い雨の季節の到来です。今週初めには早くも大雨となり、山都町では行方不明の方も出ています。気を付けたいものです。

さて、20日にメールで送らせていただきましたが、大雨時の対応は以下のように決めますのでよろしくお願いいたします。



校舎前の水たまり

【登校時】子どもの安全を第一に考えていただき、場合によっては登校を遅らせるなど、適切な判断をしていただきますようお願いいたします。なお、校内への車の乗り入れや、校門付近での車の乗降は大変危険ですので、ご遠慮ください。

【下校時】次の3段階の対応を行います。なお、第2段階・第3段階の場合は、メールを送信します。

<第1段階>通学路の安全が確認され、雨が小降りの場合：通常どおりの下校

<第2段階>通学路の安全は確認されたが、雨が激しい場合

：雨の様子を見ながら職員付き添いの下校

<第3段階>通学路の安全に不安があり、雨が一定時間激しい場合：保護者への引き渡し

なお、5月20日から、国の「新たな避難情報のレベル」がスタートしています。【警戒レベル3・高齢者等避難】は、危険を感じたら自主的に避難するタイミングで、【警戒レベル4・避難指示】は、危険な場所から全員避難するタイミングとなりました。ネット等でご確認ください。